

VOCABOW 志望理由書 Week4

添削と解説

名前	Sample2
ID	
e-mail	
開始日	

J 大学人間科学部 心理学科

本学や志望学科への興味・関心度の強さ、本学入学後の学業・学生生活プランなどを記入してください。(800字)

●原稿

私は小学生の頃から水泳を習い、全国大会にも出場してきた。所属していたスイミングスクールで、勝ち色ゴーグル診断というものを受けた。それは、自分に合う色によって、力の入り方や柔軟性などが大きく変化する現象を利用して、自分の好きな色ではなく、自分に合う色つまり勝つための色を診断し、パフォーマンスアップを図る世界初のトレーニングツールである。私が体験したのは、13色の色画用紙を順番に見ながら手に力を入れ、力が1番入りやすい色を診断するというものだった。診断する前は、自分の好きな色である青色のゴーグルを着用していた。しかし結果は、自分に合う色は黒で、反対に青は力が入りにくく自分に合わない色であることが判明した。実際に黒のゴーグルを着用し試合に出場したところ、大幅に記録を更新することができた。このことから心理学に興味を持つようになった。

一般的には、赤色が人間のパフォーマンスを高める傾向があるとされる。しかし、私の場合は黒が自分に合った色であった。また日本人と外国人では、文化や歴史の違いや目の色の違いなどにより、色彩感覚が異なることもある。私は、赤がパフォーマンスを高めると言えるのかと感じた。このような疑問を解決するために、日本人と外国人の間に生じる、色などの視覚的な心理の差異のみみならず、五感における心理の差異についても研究してみたい。将来は、五感のメカニズムを応用し、障がい者を支える道具の開発にかかわりたい。

貴学では、心理学実験やデータ収集を実践的に学び、各自の研究テーマによって、研究を計画、実施することができる。また、認知心理学を専門とするM教授のもとで、学ぶこともできる。そしてグローバルを牽引する大学であり、世界各地の留学生が集いともに学ぶ環境がある。「人間の尊厳」が守られる社会を実現することが目的である貴学で学ぶことは、私にとって魅力である。

以上が貴学を志望する理由である。(880字)

●添削

私が心理学に興味を持ったのは、水泳のゴーグルがきっかけだった。小学生の頃からスイミングスクールで水泳を習い、全国大会にも出場してきたのだが、練習の過程で所属していたスイミングスクールで「勝ち色ゴーグル診断」というものを受けた。これは、自分に合う色によって力の入り方や柔軟性などが大きく変化するという現象を利用して、自分の好きな色ではなく、自分に合う色つまりが勝つための色を診断し、パフォーマンスアップを図る世界初のトレーニングツールという試みであった。私が体験したのは、13色の色画用紙を順番に見ながら手に力を入れ、力が1番入りやすい色を診断するというものだった。診断する前は、自分の好きな色である青色のゴーグルを着用していたが、診断の。しかし結果は、自分に合うの色は黒色で、反対に青はむしろ力が入りにくく自分に合わないと分かった色であることが判明した。半信半疑で実際に黒のゴーグルをつけて着用し試合に出場したところ、大幅に記録を更新することができた。このことから心理学に興味を持つようになった。

一般的には、赤色が人間のパフォーマンスを高める色は赤色傾向があるとされる。しかし、個人差があり、私の場合は黒が自分に合った色であった。また日本人と外国人でもは、文化・や歴史の違いや目の色の違いなどによりでも、色彩感覚は異なるらしいこともある。ちょっとした感覚の違いが大きく結果を左右する現象には驚かされた。私は、赤がパフォーマンスを高めると言えるのかと感じた。このような疑問を解決するために将来的には、日本人と外国人の間に生じる、色などの視覚的など心理の差異関わりのみみならず、五感における心理の差異についても研究してみたい。できたら将来は、五感のメカニズムを応用して、障がい者を支える道具の開発にもかかわりたいかかわれたら、と思っている。これは、通っていたスイミングスクールで、パラリンピックを目指す障がい者と何度か一緒に練習し、その練習の懸命さに心を打たれたことも背景にある。

貴学では、心理学実験やデータ収集を実践的に学び、各自の研究テーマによって、研究を計画・実施することができる。またとくに、認知心理学を専門とするM教授のもとで、の学ぶことびもできるに期待している。そしてグローバル化を牽引する大学でありし、世界各地の留学生が集ういともに学ぶ学習環境があるで、さまざまなバックグラウンドを持つ学生と共同研究し。「人間の尊厳」が守られる社会を実現することが目的である貴学で学ぶことは、人間のより普遍的な見方に貢献できるように頑張りたい私にとって魅力である。以上が貴学を志望する理由である。(880字)

●添削整理済み

私が心理学に興味を持ったのは、水泳のゴーグルがきっかけだった。小学生の頃からスイミングスクールで水泳を習い、全国大会にも出場したのだが、練習の過程で「勝ち色ゴーグル診断」を受けた。これは、自分に合う色によって力の入り方や柔軟性などが大きく変化するという現象を利用して、自分が勝つための色を診断し、パフォーマンスアップを図るという試みであった。13色の色画用紙を順番に見ながら手に力を入れ、力が1番入りやすい色を診断する。診断前は、自分の好きな色である青色のゴーグルをしていたが、診断の結果は、

自分に合うのは黒色で、青はむしろ力が入りにくいと分かった。半信半疑で黒のゴーグルをつけて試合に出場したところ、大幅に記録を更新できた。

一般的には、人間のパフォーマンスを高める色は赤色とされる。しかし、個人差があり、日本人と外国人でも、文化・歴史の違いや目の色の違いなどでも、色彩感覚は異なるらしい。ちょっとした感覚の違いが大きく結果を左右する現象には驚かされた。将来的には、視覚と心理の関わりのみならず、五感における心理の差異について研究してみたい。できたら、五感のメカニズムを応用して、障がい者を支える道具の開発にもかかわれたら、と思っている。これは、通っていたスイミングスクールで、パラリンピックを目指す障がい者と何度か一緒に練習し、その練習の懸命さに心を打たれたことが背景にある。

貴学では、心理学実験やデータ収集を実践的に学び、各自の研究テーマによって、研究を計画・実施できる。とくに、認知心理学を専門とする M 教授のもとでの学びに期待している。グローバル化を牽引し、世界各地の留学生が集う学習環境で、さまざまなバックグラウンドを持つ学生と共同研究し、人間のより普遍的な見方に貢献できるように頑張りたい。(赤字も入れて 750 字)